

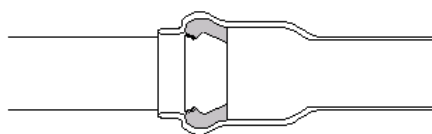
VI. 塩化ビニル管接合要領 ポリエチレン管接合要領

I. 一般事項

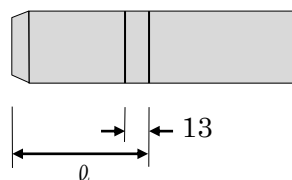
この要領は、配水管布設工事などにおいて硬質塩化ビニル管、耐衝撃性硬質塩化ビニル管及び、ポリエチレン管を布設・接合する際の基本的な事項を定めるものである。また、下記に定めなき事項については、塩化ビニル管・継手協会の水道用硬質ポリ塩化ビニル管 技術資料<施工編>によるものとする。

1. RR接合（ゴム輪型接合）。

- (1) ゴム輪は、フラップ部が受口の奥に向くようにして、ゴム輪溝部に正確に装着すること。
- (2) JIS 規格値・JWWA 規格値・製品名称等の管体表示が上向きになるように布設すること。
- (3) 管挿し口に、刷毛又はウエス等で滑剤を十分に塗布すること。
 ゴム輪に関しては、滑剤の塗り過ぎにより管挿入時に離脱し、漏水事故の原因となること
 があるため、滑剤ではなく基本は水に濡らす程度とすること。
 なお、挿入後全周にわたってゴム輪が正常な状態か十分に確認すること。



- (4) 滑剤を塗り終わったら、直ちに挿入機で標線まで管を挿入すること。
- (5) 直管を切断した場合、挿し口はヤスリ等で面取りをするとともに管端より受口長さを測り、管体にマジックインキ等で標線を入れること。



呼び径 \varnothing	ゴム輪接合・離脱防止金具での接合	メカ型継手での接合	メカ型異形管での接合
50	107	120	135
75	120	125	145
100	132	140	165

- (6) 離脱防止付異形管及び、離脱防止金具については、別紙チェックシートによりトルク管理を行なうこと。
 なお、上記異形管・金具の接合に当たっては、確実に清掃し、本管との間に砂・砂利等が混入していないことを確認したうえで、慎重に締め付けること。
- (7) 管布設完了後に埋設管探知用としてロケーティングワイヤー（導電性被覆ワイヤー）を取り付けること。詳細については「VII. ロケーティングワイヤー施工要領」による。

2. ポリエチレン管接合（冷間接合B型）。

- (1) パイプカッター等を使用し管端を直角に切り揃えること。
- (2) 継手を分解し、管に袋ナット・リングの順に預け、インコアを管に木槌等で変形しないように叩き込むこと。
- (3) セットされた管端を胴に挿入し、リングを押し込みながら袋ナットを本体ネジに十分に手で締め付けること。
- (4) パイプレンチ2個を使って十分に締め付けること。

